

志木ロータリークラブ

2025-26年度 国際ロータリー 会長 フランチェスコ・アレツツォ 「UNITE FOR GOOD」
2025-26年度 第2570地区 ガバナー 相原 茂吉 「よいことのために手を取りあおう」
2025-26年度 志木ロータリークラブ 会長 金剛 光裕 「前進」

第2459回 夜間移動例会 2026-3-24

志木RC「夜間花見例会」小諸RCの皆様と共に

於：宝幢寺

- ◎司会 吉原 正 副会長
- ◎点鐘 金剛 光裕 会長
- ◎ソング 手に手つないで
- ◎ソングリーダー 神山 威仁 会員
- ◎四つのテスト 神山 威仁 会員
- ◎ゲスト 高嶋 シオン様(卓話者)
- ◎ビジター 小諸RC 小林 潤 会長
" 小林美智子 幹事
" 柏木君雄 会員
竹内健一 会員 小山信温 会員
吉澤均二 会員 大森豊也 会員



ままでは私が法話としてお話ししていましたが、あまり抹香くさい話はみなさん聞きたくないだろうと思い、そういえば昨年从高嶋シオンさんと知り合う機会があり、思い切ってお願したところ快く受けて下さりました。誠に有難いことです。高嶋さんとは昨年の個展で知り合いお話をしている中で志木市在住と分かりとても意気投合し、去年の寶幢寺マルシェに二回ともお師匠様ともども皆様でお越しいただきました。またそのおりに香川市長と河野市議にご紹介でき、今年になって市長への表敬訪問へつながり、志木市行政にも橋渡しできました。

今回は私の所蔵作品をみなさんにご披露したく持ってきましたので是非ご覧ください。

高嶋シオン様の作品は大人気でして、現在は個展での作品は抽選です。先週の個展も初日に行かせていただきましたが、月曜日にもかかわらずかなり大勢の方のご来場があり、関西や四国など遠方よりお見えの方もいらっ

「会長挨拶」

会長 金剛光裕

皆様こんにちは。会長の金剛です。本日は高嶋先生のご紹介を兼ねて御挨拶をさせていただきます。

さて、今宵は宝幢寺にて夜間花見例会を開催いたします。

入会年度の若い会員はご存じないと思いますが、数年前までは、お釈迦様の誕生を祝う花まつり例会を毎年当山にて行われていましたが、諸般の事情でとりやめになりました。

今回、山村先生より、本堂も新しくなったしぜひお寺を見たいのでお寺で例会をやしてほしいという言葉をいただきました。

私もそういえばしばらくやってないよなと思ひ、快諾いたしました。

さてところで何をやるかと考えた時、い

しゃいました。おそらく6日間の会期で千人以上の方がご来場になったのではないのでしょうか。

絶滅危惧種を始めとする様々な動物に注がれる暖かい視線、ニューヨークシリーズに登場する子供たちの可愛らしさ。一つ一つの絵にすべて意味があって生命に対する眼差しがとっても優しく感じられます。

本日は、先週の個展でお疲れのところ、またゴールデンウィークの鹿児島でのイベントを前にして大変ご多忙のところお越し下さいました。

またこのことはいくら強調して足りないですが、全参加者にたくさんのお土産を頂きました。非売品のものもありますし、スケッチブック等もとても貴重なものです。

本当に有難うございます。

本日はどうぞよろしくお願ひ致します。



も、懸命に生きる動物達にエールを送る意味からモチーフにすることが多い。

“線”のエッセンスが、生き物たちをより魅力的に明るく滑稽な姿になるよう心掛けています。何故かおどけたフォルムに表現されるのは、動物に寄り添うことで独特の愛着を感じるからかもしれない。

「幹事報告」

幹事 塩野 章

1. 志木市役所健康政策課より令和8年献血日程について受信
日時：5月27日（水）
午前10:00~11:45 午後13:00~16:00
場所：埼玉りそな銀行志木支店前
2. ボーイスカウト志木第一団育成会より令和8年ボーイスカウト志木第一団育成定期総会開催案内受信
3. ハイライトよねやま vol.312 2026年3月13日発行

「卓話」

高嶋シオン様

高嶋シオン様ホームページより

「“生きた線” 自分だけの表現を求めて」

2021年日本テレビ「誰も知らない明石家さんま」さんま画商プロジェクトで抜擢。

ペンキをスプーンで垂らしながら描く、心にダイレクトに響く子供のような無邪気な絵が特徴。

生きた線を描きたい。そんな欲求から長年様々な手法を試した結果、現在のスタイルにいきつく。大切なのは線の美しさや躍動感、“生きた線”へのこだわり。

地球環境の変化から、絶滅に赤信号を灯した動物達があまりに多いことを危惧しながら

作品を構成する黒いアウトラインは、スプーンでペンキを垂らしたアクションペインティング(1952年アメリカの美術評論家ハロルド・ローゼンバーグが初めて使った)の軌跡です。

筆で描く線の表現と決定的に違うポイントで、そこに現れるラインは、柔らかく丸みを帯び、少し盛り上がっています。偶然性を求めるのではなく、ペンキの流れを操り意図した線により全体を構成させています。

彩色は主にアクリルガッシュです。できるだけ陰影をつけずムラなく塗ることで作品が平面的になり、目から入る情報量を少なくし、ダイレクトに全体像を捉えられるように仕上げています。

アクションペインティングは抽象画と捉えられる場合が多いですが、あえてその特徴を活かした具象表現をすることを求めました。

主に動物を描いていますが、その生態、環境、性格、色、形などをできるだけ詳しく調べ、その個体に一番適したコンポジションに注力します。動物園に行って間近で観察できた時は、そのエッセンスを感じたままに描くことにしていますが、何故かおどけたフォルムが現れます。

デフォルメには積極的に取り組み、印象的な残像が残りやすくするための工夫をしてい

3月は「水と衛生月間」です

ます。それが実物と違っていても作品に悪影響を及ぼすことはないと思っています。

これからは動物と環境破壊、絶滅危惧種への保護アピールとなるよう、生物を救うことができる人類の良心に訴える作風を追求していきたい。



【懇親会】
「乾杯」

司会 親睦活動委員 長島啓真
小諸RC 小林 潤 会長



「締め挨拶」

会長エレクト 國分 学

